



宮永岳彦記念美術館だより

2024 5 月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室



宮永岳彦 何者？

2024. 5/18 (土) ~ 12/1 (日)

5月18日(土)から新展示『宮永岳彦 何者？』が始まります。商業デザインや挿絵、風景画、水墨画そして油彩画と多彩に活躍した宮永。時代や大衆の欲望を表現した様々なジャンルの作品をご紹介しますとともに、画家としていくつもの顔を持つ宮永岳彦とは何者なのかを探ります。皆様のご来館をお待ちしています。

展示作品より今月の一点 《装》



リラックスした様子で椅子に座り、何かを思案しているような女性が軽快な筆遣いで描かれています。自然なポーズや意思を感じられる表情で宮永らしい魅力的で洗練された女性像です。

この作品が制作された1970年を境に、それまで3~4年続けて描いていたフラメンコを踊る女性の激しい動きを表現したフラメンコシリーズから、ヨーロッパの民族衣装をまとって椅子に座る女性を筆の動きを抑えたクラシックな雰囲気の中で描く民族衣装シリーズへと作風が変わります。『装』では、フラメンコの動的なリズムを表現した、走るような筆遣いと無駄のない運筆で静かに座る女性を描いていて、宮永が新たな表現方法を模索している様子を感じることができます。

若い頃から油彩画、ポスター、挿絵、表紙画と多彩で精力的な活動を続けてきた宮永ですが、この作品を描いた50歳目前に油彩の制作に専念することを決意しました。

1970年 油彩 8F

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料
開館時間 ・午前10時から午後7時 (入館時間は午後6時30分まで)

市民ギャラリーのご案内

入場無料

渋谷個展

5月1日(水)~5月6日(月・祝)
10:00~18:00 (初日12:00から 最終日16:00まで)

好きな富士山を入れた四季折々の、風景画を主に、有名画家の模写など、多種に渡り展示します。お待ちしております。

ハシグチアレンジメント 第7回植物造形作品展

5月24日(金)~5月26日(日)
10:00~16:00 (初日13:00から 最終日15:00まで)

ドイツフロリストの造形理論による「赤」をテーマとした花の作品展示。フラワーアレンジメント好き必見。

6月の市民ギャラリー展示会の予定

南が丘写友会(写真展)

6月4日(火)~6月9日(日)

カフェサマーシティ

6月20日(木)~6月25日(火)

※ 市民ギャラリーの予約はインターネットで行うようになりました。
※ 予約には事前に利用者登録が必要です。詳しくはHPをご覧ください。

宮永岳彦と水墨画



宮永が水墨画を作品として発表し始めたのは昭和43年頃からです。名古屋市立工芸学校在学中から水墨画の運筆の修練を積み重ねていました。宮永美人画の象徴である光と影のコントラストにも

濃淡やぼかしによる明暗の表現など水墨画的技法が見られます。

桜坂(鶴巻温泉入口) **美術館へのアクセス**

◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

5月の休館日: 7日(火) 13日(月)~17日(金) 20日(月) 27日(月)

※ 13日(月)~17日(金)は展示替えの為、休館します。